

あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局

〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387

TEL (086) 698-6511 第139号 2009.7

ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

《定例会の報告》

◆5月の定例会は24日(日)13時00分から総会を行ない、2008年度の事業報告、決算報告・2009年度の事業案、予算案について討議され、いずれも承認されました。会員の方で資料を希望される方はお手数ですが、事務局までご連絡下さい。総会后、「病いを抱える方達を支えてこられたご家族に伝えたいこと～共に生きるということ～」というテーマで一色隆夫院長による記念講演をおこないました。以下、その一部をご案内します。

- (1)戦前の『家制度』が残り、家族が責任をとるという体制が反動的な法学者によって残った。
- (2)昭和25年、精神衛生法が成立し、私宅監置は認められず、公的監置となった。しかし、実情は隔離収容にすぎなかった。
- (3)昭和44年頃より精神医療従事者の中で隔離収容所を治療の場に変えなければならないという動きが誕生、と同時に家族会活動の動きも活発になった。
- (4)まきび病院は昭和49年以降の精神医療改革を実際に具体化してきた成果として、誕生したものである。多くの患者・家族によって支えられてきた。
- (5)精神障害者は何をするかわからないという心身喪失者等医療観察法が成立した。これは時代と逆行するものである。
- (6)まきび病院はこれからも患者・家族・良識ある方々と共に闘っていきたいと思っている。

等、5つの項目に焦点を置いてのお話があり、大勢の方々が参加されました。

◆6月の定例会は27日(土)13時30分～「家族の抱える悩みを語り合おう」というテーマで行なわれました。以下その一部をご案内します。

- ・子供が入院中。出口が見えない状態。世間に対して隠そうと。私が追い詰めている。
- ・子供が入院中。日中に一人で不調に。家族のこと等色々悩みは尽きない。
 - ・子供が外泊してくるが、何もせずにマイペースで時に大声。それだけでくたびれる。退院、自信がない。
 - ・将来のことを全て家族がかぶるのはおかしい。真っ向から構えず、そらすことも必要。時間が解決することも。
 - ・枠にはめようとしないで。周囲が変わるか、ありのままを受け入れるか。
 - ・本人が一番よく知っており、いろいろと教えてもらっている。などの話し合いがありました

定例会のご案内

◆7月の定例会は「当事者を支える社会資源について」のテーマで12日(日)13時30分～マインドホールで行います。

◆8月の定例会は病院の夏祭りに変えさせていただきます。日時など詳細は決まり次第、掲示しますので詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

◆9月の定例会は12日(土)13時30分～マインドホールにて一色院長を囲む会を行います。